

夢を叶えるゾウ 1～4巻

水野敬也 著 飛鳥新書

魅力紹介、おすすめ エンタメ小説

読んだことない人

シリーズの違いを知りたい

新作の情報を知りたい

各巻の特徴・感想・魅力、おすすめの人をまとめて紹介します。

目次

- 1、夢を叶えるゾウとは
- 2、登場人物
- 3、各巻の紹介
- 4、著者紹介との対談

夢ゾウの内容

ジャンルは、自己啓発エンタメ小説

人生を変えたいと思ってるウダツの上がない主人公のもとに「自称 超有名なインドの神様ガネーシャ」があらわれ、

そこで次々と出される課題を次々とクリアーしていくことで、成長を遂げていく物語
構造的にはドラえもんぽい

全巻共通な特徴は、流れるようなストーリーがありながら、

課題が小分けされ、わかりやすい

最後に、教え、異人索引、用語解説がまとめられている。

課題が実践しやすい仕組みになっている、

が、そう簡単に出来るわけないよって、過去の経験から思う人もいるはず、

夢ゾウシリーズの主人公は、まさにそういうタイプ

まさに、ガネーシャに反発し、そのやりとりが漫才のようで、しかも哲学問答のような
深さを感じる

挫折しそうな過程も含めて

まさに、読者に親しみの持てるポイントでもある

エンタメファンタジー小説を読んでいたら、いつの間にか一步踏み出す勇気をもらっていた。そんなシリーズだ。

愉快的なこの語りを個性的かつ愛らしいキャラクターたちです。

登場人物紹介

一人目は、ガネーシャ、インドの有名なゾウの神様

腕は四本、日本の白い牙は片方が折れており、でっぴりとしたお腹に入っているのは、あんみつ。

ガネーシャは、人間の夢を叶えることにハマっており

あのエジソン、ニュートン、ステーブ・ジョブス等をプロデュースしたとか、

しかし、ガネーシャ自身は、タバコをふかしながら

わがまま、気ままな生活を送っている

しかも自分のことが好きで、ガネーシャのことを知らない人がいると泣いて悲しんでしまう

関西弁で喋り倒し、お笑いをこよなく愛するも、センスゼロ。

ガネーシャは、巻によっては、狂言回し的な役割を果たし

二人目は、釈迦で、ゴータマ、シュツタルダ

彼は、全シリーズに登場、ガネーシャの友人であり、

お笑いにおける相方で、代表作は「今生の別れ」コント

オーマイゴットで、オチ

聖お兄さんの

そんな釈迦が行きたいところは、富士急ハイランドのフジヤマ

そして、彼は特殊能力として、時を止めることができる。

夢ゾウの中では、まともな方

三人目は、貧乏神の、金無幸子さん

多重債務者が好きな貧乏神様、

借金と百均が好み、貧乏の素質がる人間に恋して取り憑く貧乏神

2巻のキーパーソン、キーゴット、3巻にも登場

主人公を含め巻を跨いで登場する

四人目は、死神

死にかけの人間に取り憑いで、2巻目ではめだつた登場はなかったが、4巻ではメインを張っている。

言葉がしみます。各巻紹介で。

各巻紹介

第1巻

お前なあ、このままやと2000%成功でけへんで。ダメダメな僕のもとに突然現れたゾウの神様“ガネーシャ”。なぜか関西弁で話し、甘いものが大好きな大食漢。そのくせ、ニュートン、孔子、ナポレオン、最近ではビル・ゲイツくん(、)まで、歴史上の偉人は自分が育ててきたという……。しかも、その教えは「靴をみがく」とか「募金する」とか地味なものばかり。こんなので僕の夢は本当にかなうの!?

漠然と成功したいと思っている人

自分が何をしたらいいかわからない人

就活生・新社会人

主人公は普通のサラリーマン、人生を変えたいと思うものの、何も変わらないまま毎日を過ごしているところに

ガネーシャが登場、

今からワシの言うことつた一度でも聞かんかったらもう一生、何か夢見ることなく、今まで通りのしょもない人生をだらだら過ごして後悔したまま死んでいきます(p21)

と言う誓約を交わすことになります。

どんな課題か。難しそう。

しかし、それは

靴を磨く

夢を楽しく想像する

誰か一人のいいところを見つけて褒める

なんだか1日一個出来そうな課題だ

でもこう思う人もいる

こんなことで成功できるのか。

主人公もそう感じており、ガネーシャに尋ねてみた

「成功しないための一番重要な要素は、「人の言うことを聞かない」や

そんなもの当たり前やろ

成功するような自分に変わりたいと思って、

でも今までずーと変われへんかったちゆうことは

それはつまり、「自分の考え方にしがみついとる」ゆうことやんか(p37)

まさに

ガネーシャはふざけ倒しながらも

これまで偉人を育ててきたノウハウをきちんと教えて成功に導いているわけだ

これは全巻通して言えることだが

ココシャネル、カーネルサンダース、松下幸之助、ビル・ゲイツなどなど

成功者、偉人と言われる人たちのエピソードがたくさん出てくる

いいとこ取りの感じ

もちろん自分に合わないものもあるが、しかし、なんといっても「素直な心が大事」だと

各巻の主人公は疑問を抱きつつもなんや感ややっていく

クリア出来たら自信がつくと思うし、自己啓発に欠かせない、なんやかんややってみる感を培えるのである

「夢は強く願えばいつか叶う」

しかし、それをプレッシャーとを感じる人もいる

そもそも夢とか好きなことなくちゃいけないの？、めたクチャ焦ります。

こんな活動していると深掘りされたり、次の課題、目標は何と聞かれる。

余裕のないときに聞かれたり考えたりすると、無意識に周りの求める理想像に合わせて、設定するようになる。そして何を目指しているのかわからなくなります。

ガネーシャは、でも、未来の夢って違うねん。誰に言われるでもなく、勝手に想像してワクワクしてしまうなんが夢やねん、考え始めたらたのしゅうて止まらんようになるんが夢やねん。そう言う想像の仕方を大事にせなああかんねんー(p157)

やりたいこと見つけるプレッシャーに対し、

きちんと言及したうえで、純粹にワクワクする気持ちが出てくるマインドを起こさせてくれる

ただ、これはちょっと綺麗事

そもそもワクワクすることがないから困ってんじゃないか

そんな人にも、ガネーシャはジーンとくる一言投げかけてくれる
成功しても成功せんでも、気張って目標に向かって努力してもつい誘惑に負けて寝てしまっても、ワシ、自分のこと好きやで(p356)

あくまでも本書は、一般的な「成功」を目指すための教えが解かれているだけで、それが人間的な価値とか幸せとは別物であると、と言うのが前提になっている。

押し付けがましくない。

主人公の成長していくストーリーがとてもいい。

第2巻 ガネーシャと貧乏神

「お金」と「幸せ」の関係、ごっついの教えたろか。

脱サラし、お笑い芸人になった西野勤。しかし才能がなく、8年間、売れることなくすぶっている。

そんな彼の元にガネーシャが降臨! 「ワシとコンビ組もうや」。

ガネーシャとお笑いコンビを組んだ西野は果たして夢をかなえることができるのか?

貧乏神の金無幸子も加わり、「お金」と「幸せ」の真の関係が理解できる、

夢があるけど目が出ない

お金が欲しい

転職を考えているクリエイター業の人

2巻の主人公は、実は夢の職業についている

脱サラして、今はお笑い芸人

しかし、8年間泣かず飛ばずで燻っている

そこにガネーシャ降臨

一緒に組んでお笑いコンテストの頂点を目指すストーリー

ここでのテーマは、ずばり、お金

貧乏には3種類ある。主人公につく貧乏神の幸ちゃんという

1、ドリーム貧乏

2、ガネーシャ貧乏

3、お駄賃貧乏

1、は、略してドリビンは、

大きな夢を持っているもののその夢に囚われているあまり、お客さんのことが全然見え

ていない、イタイ人

主人公はこのタイプ

2、は、目の前の誘惑を我慢できない人

3、のお駄賃貧乏は、

「お金」 = 「嫌な作業をすともらえるもの」ととらえ「いかに楽して作業を終わらせるか」を考えている人

2巻は貧乏神の幸ちゃんから貧乏の特徴を聞き出して、じゃあ、そうならないためにどうしたら良いかを、夢を実現する上でのお金の向き合い方がわかる
貧しいってお金についてもいいですが、心が貧しい、貧しい想像力など、
読んでいてネガティブなマインドとリンクしている。

人を責めたり、批判したりすることが好きな人って他人が不幸になることを望んでいる人ですから、そう言う言葉を口にすればするほど貧乏神はその人に近づいて行きたくなる(p154)

愚痴は批判は適度に、いつのまにかストレス発散のつもりが自分の状況を悪くしていることにハット気づかされる。

2巻の一押しテーマは「お金」だが、「才能」というのも隠れていないか。

売れない芸人ということから、自分の能力への不安や、他人から評価されることへの不安を持っている。しかし、ガネーシャと一緒に過ごすことによって、心境に変化が訪れる。

不安に実態はない。自分の不安に対する姿勢が、そのまま不安の大きさを決める。(p168)
大事なのはたくさんの人に見られることじゃない。たくさんの人を喜ばせることがなんだ(p262)

このように1巻、2巻の主人公も成功を遂げていくが、一つ懸念がある

主人公が成功すると、お金持ちになっちゃうと、幸ちゃんの居場所がなくなってしまう。そこのオチが見どころ。

第3巻 ブラックガネーシャの教え

「仕事」と「恋愛」に効くスパイシーな教えやで。

仕事も恋もあきらめきれない女性社員の部屋にガネーシャが降臨し、筋肉隆々のブラック姿に変身!

カーネルサンダースを白髪にし、ムンクを叫ばせるほどにスパイシーな教えとは?
ライバル神との「商売対決」も必見の自己改革エンタメ小説、
バトルものがすき
必ず達成すべき目標がある
厳しい指導の方が燃える
ビジネス手法の基本を知りたい

3巻は、仕事も恋愛も中途半端な態度なのに、理想の恋人を作って、なに不自由しない
お金があって、世界一周旅行をしたいという夢を諦められない主人公が登場する
シリーズの中で唯一の女性主人公、女性に勧めたいが
ガネーシャの当たりが非常に強く、平気で「行き遅れ女」と浴びせかけるので、注意。
何故こんな殺伐とした雰囲気なのか、
今回はガネーシャは、ガネーシャでもブラックガネーシャが降臨する
主人公に外見のことを言われ腹を立てたガネーシャが、筋肉隆々のブラックガネーシャ
に変身して、そこから商売やサブ的に恋愛についてスパイシーな教えを説いていく。
3巻は、お金から商売に特化、ビジネス的な視点にかわり、いつもの愉快的仲間に加え、
ライバルが登場する
ガネーシャ陣営、ライバル陣営の構図。どちらが多くの商品が売れるか、なんというバ
トル要素も

楽しんで稼ぎたい。YouTube r のイメージ

こういう誘惑をするのがライバルだ

主人公は、流されちゃうタイプ。

もちろん小手先ハウツウで効果を出すこともあるかもしれませんが、

何故そうするのか、なんのためにやっているのか、

これが抜け落ちていたら、長続きはしない。

夢を叶えることには、辛いこと苦しいことは、決して避けられない(p378)

このことをガネーシャは説いていく

いくつか課題をあげると

目標を誰かに宣言する

空いた時間をすべて使う

今までずっと避けてきたことをやってみる

自分で自由にできる仕事につくる

今回は、自分で考える部分が多く、厳しめ、しかも地味
覚悟をした人が読めとっている感じ、こういうスタンスですが、商売そのものではなくとも、例えば、受験や資格取得、一プロジェクトなど、成し遂げるストイックさが必要なものに対して有効。

楽しんで稼ごうから、楽しく稼ごうという気持ちで

ガネーシャから

「お稲荷さんのマスコットを路上販売してこい」にたいし、かのじよは、「神社とかに置いてもらった方が効率的ではないか」と

一見確かに、しかし、ガネーシャは

自分、それ、ほんまにそう思っているのか？(p259)

主人公が路上で販売するのが恥ずかしいから、逃げる言い訳をつけていることを見抜いていた。

「怖さから逃げて「筋の通った話」を作ったとしたら、それ一番危ないことやで、そうやって、逃げたい気持ちを正当化する癖つけてしまうと、その人は絶対に成功できへん(p261)

ネガティブ思考から脱却する

1 巻は、やりたいことがない人

2 巻は、やりたいことをやっているが、うまくいかない人

3 巻は、やりたいことはあるけど、やっていない人向け

第4巻 ガネーシャと死神

家族を愛する会社員。彼は夢は「このままの日常がずっと続くこと」。しかし彼は余命3か月を宣告されてしまう。残り3か月で家族のために一体何ができるのか。さらに事態は思わぬ方向に展開し、衝撃のラストへ――。

哲学的な話が好き

守るべき家族がいる

夢の手放し方を知りたい

この巻の主人公は家族を愛する会社員の男性、妻と幼い娘と暮らす3人家族。なんと余命三ヶ月の宣告を受けてしまう。

保険にも入っていない彼は、先立つ 1000 万円を用意したい。

これにたいし、ガネーシャは、一億円いけるで、と言うが、その教えをクリアーにしていく内容。

お金以外でも家族に残せるものはあるか？

死が近づいても人は幸せになれるのか、と言うのが大きなテーマです。

ここでのメインは死神。頼りない火を灯した短い蠟燭を持ちながら現れ、人間が死際に後悔する 10 のことを挙げる

- 1、本当にやりたいことをやらなかったこと
- 2、健康を大切にしなかったこと
- 3、仕事ばかりしていたこと
- 4、開きたい人に会いにいかなかったこと
- 5、学ぶべきことを学ばなかったこと
- 6、人を許さなかったこと
- 7、人の意見に耳をかさなかったこと
- 8、人に感謝の言葉を伝えられなかったこと
- 9、死の準備をしておかなかったこと
- 10、生きた証を残さなかったこと

人生 100 年、あまり普段死を感じることは少ない

目を背け続けている状況とも言える

いつ死ぬかなんてわからない

そこで 10 のことが羅列されると、

このままだと後悔しそうだなぁ、と思ってしまう。と想像できる

もちろん深刻に悩む必要はないのですが、

トルストイは、死の準備をすることは充実した人生を送ることだと引用している

死を見つめることで生を見つめること、これが大事なテーマになっている。

ブラックガネーシャと違って今回は、寄り添いモード

今までは夢を叶えることにフォーカスしていたのですが、今回は、死を扱うこともあって、

夢を手放すことについて考える

ある夢にこだわって実現しようと努力し続けるのは素敵なことやけど、その夢に縛られて、不幸になってもうたら、手放さーなあかんこともある。(中略)

諦めると受け入れるは同じ意味のことやからな(p300)

時間と情熱を使ってきたこと、そう簡単に諦めることは出来ないけど、それで不幸が作られているならやり方を変えてみることや、

手放すことが必要かもしれない。

なぜなら、手放すことによって、次の夢を叶えることに繋がるかもしれないからだ。

4巻では夢はあくまでも、「幸せになるための手段」ということを教えてくれる。

また、夢を叶えた人を羨む方にとっても、叶えられなかった夢があるし、今想像する完璧なものを夢とみなしがちだけれども

今までにだって、たくさんの夢を叶えてきた話も印象的だ。

今では当たり前のことは、かつては憧れの夢だったわけで、

過去の上書きをしています、忘れがちですが、読んでいる時は、日々の幸せを噛みしめることができる

小説としても、ちょっと予想ついてしまったことがあるのですが、驚きのオチに感動します。

全巻通して好きな言葉を引用して

自分の価値を忘れてる人がおっても、価値のない人はおらへんやで(p314)

水野さんへのインタビューから

4巻発刊について

夢を叶えることと幸せになることは、別のこと

いってみれば、幸せになるための一方法として夢を実現させること

また、夢を手放すと言う、選択もあり、諦めることによって、新たな夢を叶える挑戦がはじまる

読書のパワーについて

読書で人生が変わっている、変えてくれたと思う

ホントの対話

本は直接ヒント、メッセージを得られる

自分の中で言語化できない感情とかを、気づかなかった感覚を体験させてくれる

フォードは、もっと走る馬からクルマを発想した 客の言葉を読み取り、新たに開発、具現化した。

小説、本にも、そういうことが言える

読者も気づいていないけど何かを欲しているのをさっちして

著者が、言葉によって表して、クリアーになる新たなものを、提示する。

おすすめの本

自己啓発

夢を叶えた夢を見た 内館牧子 著

夢を追う、追わない、叶える人、叶えない人のマトリックス

夢を叶えた人

:

夢を追わなかつ人 —□—夢を追った人

:

夢を叶えなかつた人

そして、後悔している人

希望とおりがあいをつけいくこと

4巻の夢を手放すとてんでリンクする

文芸部門

マリアビートル 伊坂幸太郎 著

仙台に向かう新幹線の中に繰り広げられる殺し屋が何人も乗り込んで殺し合いが繰り広げられる

ポップな設定

なぜ人が人を殺してはいけないのか→ 根本的な問いにこたえる

思春期、大学の時、議論になった。しゃべくり番組で話題に

論破できない、骨太のコンセプトをちゃんとやり切った。

こんな感性で読み直ししたい。

夢を叶えよう→夢を手放せへ

視聴者からどんな反応が、期待している

著者紹介

愛知県生まれ。慶応義塾大学経済学部卒。

著書に170万部のベストセラー「夢をかなえるゾウ」ほか、「四つ話のクローバー」、「ウケる技術」、「雨の日も、晴れ男」、「『美女と野獣』の野獣になる方法」、「大金星」がある。

また、DVD「温厚な上司の怒らせ方」の企画・脚本や、漫画「地球くん」の企画・原案を手がける。